

通訳機「POCKETALK®(ポケットーク)」が 名古屋市営地下鉄「名古屋駅」「栄駅」などの サービスセンターで接客ツールとして採用 8 月 17 日(金)より名古屋市内で利用開始

ソースネクスト株式会社(本社:東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター33 階 代表取締役社長:松田 憲幸)は、8 月 17 日(金)より、株式会社名古屋交通開発機構(本社:愛知県名古屋市千種区覚王山通七丁目 11 番地 代表取締役社長:前田 務)を通じて、弊社の IoT 通訳機「POCKETALK(ポケットーク)」が同社の運営する名古屋市交通局のサービスセンター窓口にて、外国人旅行者向けの接客ツールとして採用されたことをお知らせいたします。

本製品は、世界 63 言語^(注 1)で、互いに相手の国の言葉を知らなくても対話ができる先進の IoT 通訳機です。

名古屋市では、本丸御殿第 2 期公開を開始した名古屋城や、現代アートの祭典「あいちトリエンナーレ 2016」が人気を博したことから、2016 年度の観光入込客実人数(推計)は 4700 万人を突破し、集計開始した 2005 年以降過去最高となりました^(注 2)。同社では、名古屋市交通局のバス、地下鉄の案内・乗車券販売業務を行っており、近年の外国人利用客の増加を受け、お客様への案内サービスの充実を図るため本製品が採用されました。訪日外国人利用者の多い名古屋駅、栄駅、金山駅の駅構内にあるサービスセンターで利用を開始いたします。

なお、弊社は 7 月 26 日(木)に、本製品の次世代モデル「POCKETALK(ポケットーク) W」を発表いたしました。見やすさ・使いやすさを大幅に改善し、翻訳速度・精度が向上した最新版で、9 月 7 日(金)に発売します。

弊社は今後も「言葉の壁をなくす」というミッションの実現に向けて、本製品を日本のみならず世界中に広げて参ります。

注 1 2018 年 1 月時点での初代「ポケットーク」対応言語数

注 2 名古屋市 平成 28 年度名古屋市観光客・宿泊客動向調査

【「POCKETALK」(ポケットーク)とは】

「POCKETALK(ポケットーク)」は世界 63 言語に対応した、手のひらサイズの通訳機です。話しかけるだけで通訳がいるかのように対話ができます。

言葉が通じることで、海外からの訪日客の接客に役立てたり、より海外旅行を楽しめたり、学習の一助としてちょっとした表現を知りたいときなど、幅広く活用できます。

なお、弊社は 7 月 26 日(木)に本製品の最新版、「POCKETALK(ポケットーク) W」を発表しました。

「POCKETALK(ポケットーク) W」は初代モデルと比べ、本体サイズはそのままに画面は 3 倍以上大きくなり、タッチパネルを採用。世界 105 の国と地域で使えるグローバル通信機能を内蔵しているため^(注 3)面倒な設定は不要ですぐに使えます。通信は 4G に対応し、翻訳速度も向上、見やすさ、使いやすさ共に刷新しました。言語数はインド英語やオーストラリア英語などのアクセントにも対応し 74 言語^(注 4)に拡大、翻訳精度の向上も実現しています。



「POCKETALK(ポケットーク) W」

「POCKETALK(ポケットーク) W」

詳細: <https://pocketalk.jp/>

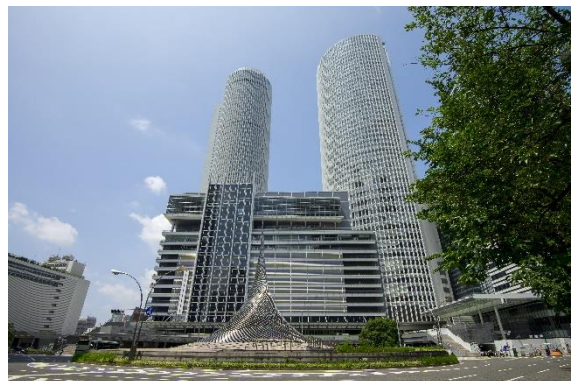
リリース: https://sourcenext.co.jp/pressrelease_html/JS/2018/2018072601/

注 3 グローバル通信(2年)付きの場合

注 4 2018年7月26日時点

【 株式会社名古屋交通開発機構について 】

- 会社名 : 株式会社名古屋交通開発機構
- 本社所在地 : 愛知県名古屋市千種区覚王山通七丁目 11 番地
- 詳細 : <http://www.do758.co.jp/index2.html>
- 利用場所 :
 - ・名古屋駅構内にあるサービスセンター
(愛知県名古屋市中村区名駅 1 丁目 1-4)
 - ・栄駅構内にあるサービスセンター
(愛知県名古屋市中区栄三丁目 5-12)
 - ・金山駅構内にあるサービスセンター
(愛知県名古屋市中区金山 1 丁目 17-18)



名古屋駅周辺イメージ

コピーライト表記について

- 製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。
「POCKETALK(ポケットーク) W」:© SOURCENEXT CORPORATION

お客様お問い合わせ先

- ソースネクスト・カスタマー・サポートセンター
- ご購入前相談ダイヤル : 0570-035-333 (IP 電話からは 082-553-1081)